

利用者のために

1 調査の目的

本調査は、「食料・農業・農村基本計画」（平成22年3月30日閣議決定）に基づき、意欲ある多様な農業者による農業経営を推進するため、新規就農者数（雇用における新規就農者及び新規参入者を含む。）を把握し、新たな人材を育成・確保する諸施策の企画・立案、検証等に必要な資料を整備することを目的とする。

2 調査の対象

(1) 就業状態調査

2005年農林業センサスで把握した農業経営体（9 用語の解説「農業経営体」参照）のうち、家族経営体を対象とした。

(2) 新規雇用者調査

2005年農林業センサスで把握した農業経営体のうち、組織経営体（(1)の家族経営体以外）及び一戸一法人を対象とした。

(3) 新規参入者調査

農業委員会を対象とした。

3 調査事項

巻末に掲載した調査票参照

4 調査期日

平成22年4月1日現在

5 調査方法

(1) 就業状態調査及び新規雇用者調査

調査は、標本調査により行うこととし、2005年農林業センサス結果に基づいて作成した母集団名簿を用いて標本抽出を行った。標本抽出は、系統抽出法により行い、この抽出された調査客体に対し、調査票を郵送により配付・回収する自計調査として実施した。

(2) 新規参入者調査

調査は、全数調査により行うこととし、農業委員会に対し、調査票を郵送又はFAX若しくは電子情報処理組織により配付・回収する自計調査として実施した。

6 調査対象数及び回収率

区分	標本数	有効回収数	回収率
就業状態調査	106,870経営体	70,441経営体	65.9%
新規雇用者調査	3,123経営体	2,072経営体	66.3%
新規参入者調査	1,743委員会	1,743委員会	100%

7 集計方法

(1) 就業状態調査及び新規雇用者調査

集計対象事項（ x ）の農業地域別合計を次に示す推定式により算出し、全国の推定値は、農業地域別推定値を加算することにより求めた。

[推定式]

$$X = \frac{N}{n} \sum_{i=1}^n xi$$

<上記の計算式に用いた記号>

X : 当該地域の x の合計の推定値

N : 当該地域の母集団の大きさ(経営体数)

n : 当該地域の集計標本数

x i : 当該地域の i 番集計標本の x の調査値

(2) 新規参入者調査

調査値の合計により求めた。

8 実績精度

新規自営農業就農者数(5万7,400人)及び新規雇用就農者数(7,570人)についての実績精度(標準誤差率)は、次のとおりである。

区 分	標準誤差率
新規自営農業就農者数	2.2%
新規雇用就農者数	7.5%

9 用語の解説

新規就農者

次の3者を新規就農者とする。

新規自営農業就農者

農家世帯員で、調査期日前1年間の生活の主な状態が、「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び「他に雇われて勤務が主」から「自営農業への従事が主」になった者。

新規雇用就農者

調査期日前1年間に新たに法人等に常雇い(年間7か月以上)として雇用されることにより、農業に従事することとなった者(外国人研修生及び外国人技能実習生並びに雇用される直前の就業状態が農業従事者であった場合を除く。)

新規参入者

調査期日前1年間に土地や資金を独自に調達(相続・贈与等により親の農地を譲り受けた場合を除く。)し、新たに農業経営を開始した経営の責任者。

新規学卒就農者

新規就農者のうち、自営農業就農者で「学生」から「自営農業への従事が主」になった者及び雇用就農者で雇用される直前に学生であった者。

農業経営体

農産物の生産を行うか又は委託を受けて農作業を行い、生産又は作業に係る面積・頭数が、次の規定のいずれかに該当する事業を行う者をいう。

ア 経営耕地面積が30a以上の規模の農業

イ 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷頭羽数、その他の事業の規模が次の農業経営体の外形基準以上

	の規模の農業	
	①露地野菜作付面積	15 a
	②施設野菜栽培面積	350 m ²
	③果樹栽培面積	10 a
	④露地花き栽培面積	10 a
	⑤施設花き栽培面積	250 m ²
	⑥搾乳牛飼養頭数	1 頭
	⑦肥育牛飼養頭数	1 頭
	⑧豚飼養頭数	15 頭
	⑨採卵鶏飼養羽数	150 羽
	⑩ブロイラー年間出荷羽数	1,000 羽
	⑪その他	調査期日前1年間における農業生産物の総販売額50万円に相当する事業の規模
	ウ 農作業の受託の事業	
家族経営体	農業経営体のうち家族労働を中心に行い、家族の中に経営の決定権を持つ者がいる経営体をいう（一戸一法人を含む。）。	
組織経営体	農業経営体のうち家族経営体以外の経営体で、法人（法人格を認められている者が事業を営んでいる場合）もしくは法人でない団体をいう。	

10 利用上の注意

(1) 統計の表示について

ア 数値の四捨五入について

統計表の数値については、集計値の原数を下1けたで四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

イ 表中に使用した記号は、次のとおりである。

- 「0」： 上記アの四捨五入によるもの（例：4人→0人）
- 「-」： 事実のないもの
- 「…」： 事実不詳又は調査を欠くもの
- 「△」： 負数又は減少したもの

(2) 連絡先

農林水産省 大臣官房統計部 経営・構造統計課 センサス統計室
農林漁業担い手統計班

代表：03（3502）8111（内線3666）
03（6744）2247